

令和6年度 シラバス

教科	芸術	科目	水墨画入門	必修・ 選択	単位数	2
教科書・副教材等						
学習の到達目標	<p>墨を用いて基礎的な表現活動を行い、日本古来の伝導芸術について学び、その技術を磨くことで、水墨画に関する幅広い資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 墨と水だけを使った制作活動について理解を深めるとともに、意図に応じて技法を使い分けることができるようにする。</p> <p>(2) 筆を扱った自在な線や墨の濃淡、筆あとや余白など、様々な技法を用いたり、構図を考えたりしながら表現することができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に水墨画の制作活動に取り組むことで、水墨画に親しむとともに伝統文化を継承しようとする態度を育む。</p>					
評価の観点	a. 知識・技能		b. 思考・判断・表現		c. 主体的に取り組む態度	
	技法や構図などで作品を捉えることを理解している。 筆の特性を生かし、様々な技法を用いて表現している。		表現の意図を考えて作品を構想している。 技法や構図の目的などを基に、想像力を働かせて鑑賞している。		水墨画に関心を持ち、目的に応じた作品作りに意欲的に取り組んでいる。 様々な技法や構図を考えて自分なりの作品を作ろうとしている。	
評価の方法	上記3つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、作品（提出状況・技術点・努力点等）から総合的に評価を行う。					
	単元			主な学習内容		
前期	1 水墨画の由来と基礎技法の学習			・北画・南画に見る中国水墨画の紹介と、日本の水墨画の関係を学び、日本人が開拓してきた今日の水墨画を学習する。		
	2 基礎技法の研究と四君子の学習			・四君子（蘭、竹、菊、梅）の描写技術を学習する。		
後期	1 作品制作及び鑑賞（モチーフ）			・樹木、花、岩、水などを基本モチーフとして学習する。		
	2 作品制作及び鑑賞（風景画）			・手本に従って描写方法を学びとり、作品の中にみられる多くの技術を習得する。		
	3 作品制作及び鑑賞（風景画、人物画、生物画、生活画他）			・習得技術をもとに、多くの作品制作に取り組むとともにその鑑賞力を養う。		